



先輩職員インタビュー

「毎日の給食で、

心と体の健やかな成長をお手伝い」

所属

白河市立白河第一小学校

● これまでの経歴(所属年度)

- H21~H25 石川町立南山形小学校
・山形小学校給食共同調理場
〔石川町立南山形小学校所属〕
- H26~R 2 郡山市立中学校給食センター
〔郡山市立行健中学校所属〕
- R 3~ 白河市立白河第一小学校



学校栄養

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 私は現在、自校式給食の小学校に勤務し、約300食の給食を作っています。調理室内では食材の衛生管理、調理補助、仕上がり確認、在庫管理等を行い、午後は調理員と相談しながら献立作成や、発注業務、伝票、諸帳簿の整理等を行っています。

また食育では、食に関する情報を家庭へ発信する給食だよりや、児童が全校生へ向けて読む給食放送資料の作成、給食主任や先生方との連携による授業、給食委員会の児童と食習慣・マナー向上のため活動を工夫して行っています。

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 給食をととても楽しみにし、「おいしかったです！」「今日は苦手な野菜も完食です！」と毎日笑顔で伝えてくれる子どもたち。初めて食べる料理や食材との出会い、食育授業での学びや体験を通して、給食は子どもたちの健康をサポートし、将来につながる一番身近な教材です。

いろいろな食べ物や情報で溢れる現代において、健康を考え自己管理ができるよう「食を選択する力」をしっかり身に付け、また食べ物や自然の恵みに「感謝する心」を育むことで、福島の子どもたちの身心の健康と、明るい未来へつなげていくことを目標にしています。



↑ 地場産物を活用した特別給食。



Q. 仕事をする上で心がけていることは何ですか。

A. 子どもたちの心に響く食育指導を進めていくためには、子どもたちをよく観察するとともに、担任・家庭・地域と連携し、食生活の実態と課題に即した指導をすることが大切です。関わる人全員で子どもたちが決めた食の目標の達成をサポートできるよう、情報の共有を心がけています。



↑ 給食の味見・汁物の塩分を確認している様子



↑ 給食を取りに来たクラスは心を込めて挨拶します

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「地域の人の協力に感謝」「地元のおいしいもの発見」「道の駅めぐり」
「子育て中」「休日は娘と畑のお手伝い」

Q. 「地元のおいしいものを発見」について教えてください。

A. 八百屋さんや地域の方から、今採れる地域の食べ物や、新しい品種の果物等「おすすめ」を教えてください。地域の「美味しいもの」と巡り合い、地元の魅力を肌で感じられることも、この仕事の魅力だと感じています。



↑ 食育の授業をしている様子